

まなびの広場



マナビ

「町ぐるみでの子育て」を視察（埼玉県白岡市）

2月20日に、町生涯学習推進協議会と町ぐるみ協議会の合同で、「町ぐるみでの子育て」を実践している埼玉県白岡市を視察しました。

白岡市には、学校、PTA、子ども会育成会、スポーツ少年団、家庭教育関係者などで組織された「町ぐるみ白岡」（野口英夫会長）があり、地域・学校・家庭のつながりを強化して、地域全体で子育て意識を高めています。

各小中学校に、学校応援団が組織され、事業についての協議や、情報交換が行われています。子育ての場に体験活動を取り入れており、乳幼児も一緒に楽しめるクラシックコンサートや、雑木林での自然観察会と落ち葉の大掃除、その後、みんなで焼き芋を食べるつどいなどを実施しています。さらに、各家庭において、「我が家の約束チェックシート」を作成し、意識改革をしながら基本的な生活習慣や家族の絆づくりの見直しを図っています。これらの「町ぐるみ白岡」の取り組みは、町で導入した「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」でも参考になる事例でした。

視察会場の白岡市生涯学習センター「こもれびの森」は、図書館、中央公民館、歴史資料展示室が併設され、子どもから高齢者まで、幅広い年代の人たちが楽しく学び、憩い、交流することが出来る木材を内装に多く取り入れた落ち着いた雰囲気のある施設でした。

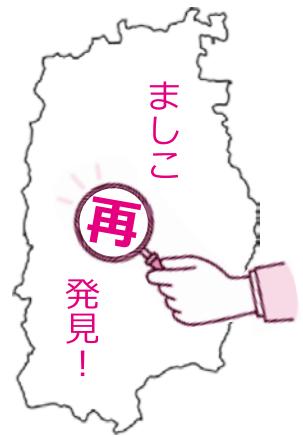
このページは、生涯学習支援ボランティアまなぼうかい「**学望会**」の編集協力により作成しています。



説明に聞き入る推進員の皆さん



「町ぐるみ白岡」による説明



益子町は焼物の里として国内外で知られていますが、町の歴史に目を向けると東日本では珍しく、中世に創建された国指定文化財がいくつも残されています。

また、身近な存在で地域に愛され、将来にわたり守り続けていきたい風土、風景、食文化などを町が独自に「ましこ世間遺産」として認定し保全に努めています。

今月から、地域の魅力ある場所を四季折々楽しめるポイントとして、紹介します。

【春】4月

春はやはり「桜」ですね。この時期は町のいたる所で桜が咲き誇り、町民や観光客の心を和ませてくれます。中でも大平の「安善寺」、山本の「光明寺」のしだれ桜は町の天然記念物でもあり、満開を迎えた姿はインスタ映え間違いなしです。



安善寺のしだれ桜

ましこ世間遺産にも認定されている「小宅古墳群」の桜・菜の花はダイナミックです。6世紀頃に造られた古墳35基が小宅川北西の緩やかな丘陵地に広がり、春になると地元の方々が整備した桜や菜の花が一面に咲きます。その色のコントラストは見事であり、毎年多くの見学者で賑わいます。



小宅古墳群の桜と菜の花

ましこ世間遺産「益子稻荷神社」近くの「円道寺池」は、城内坂通りから少し入ったところで、桜と菜の花を眺めながら散歩することができます。こちらも地元の有志の方々によって整備され、5月には水芭蕉も楽しむことができます。春の陽気に誘われて町内を散策してみたいかがでしょうか。



円道寺池の桜と菜の花

問

生涯学習課



(72)

3101